

音訳グループ さわらび

目の不自由な方へ 文字を声に代えてCDによる情報提供

昭和50年4月15日号の川西市発行の広報を初めてテープ化し、市内の視覚障がいの方に届けたのが活動の始まりです。活動内容も多岐にわたり、メンバー全員が音声による言葉の勉強をしながら、共に活動を通して楽しみながら頑張っています。

活動内容

○例会

第3水曜 川西公民館 13:00~14:30

例会後、元NHK文化センター講師 林曠子先生による勉強会

○音訳（当番制、グループ制で担当）

市の広報誌「広報かわにし」/月1回、広報誌折り込み（じんけん、Rかわにし、男女共同参画だより）独自の編集による雑誌さわらび、文芸さわらび、録音図書/随時、ふくし協会だより、かわにし119新聞、かわにし市議会だより、森の泉、かわにしの水道・下水道、国保ガイドブック 等々

○訪問朗読

○リスナーの部会に参加/毎月、リスナーとの交流会/年1回

○第2水曜、第2・4火曜 勉強会 9:30~16:00（会員相互による）

○社会福祉協議会等主催の行事への協力、市等主催行事の司会

※メンバー構成

40代から80代の女性中心の
26名のサークルですが、
男性も5名現在活躍中です

※会費

年3,000円

※入会条件

音訳ボランティア入門講座修了

ひとことPR

デジタル音声情報システムの出現によりデジタル化の動きは急速に進みつつあります。パソコンに強い方も弱い方も大歓迎！細く長く続けてボランティアをと考えていらっしゃる方も

どうぞ一緒に□